

資産運用レポート：プラサド流バリュー投資

はじめに

今から30年あまり前、初心者時代に読んだ『ファンド・マネジャー』という書籍にたいへん感銘を受けました。

本書で紹介されている達人投資家9名のうち、トップバッターとして登場するのが、全盛期のウォーレン・バフェットだったからです。

それから長年の月日を経て、当時を上回る感銘を受けた本に出会いました。書籍のタイトルは『What I Learned About Investing from Darwin』（ダーウィンから学んだ投資）です。

米国でバリュー投資家に絶賛されていた英語版の本書をどうしても読みたかった私は、グーグル通訳の手助けにより、何とか読み終えることができました。

著者のプラク・プラサド (Pulak Prasad) は、インド株への投資を行っているナランダ・キャピタル (Nalanda Capital) の創設者です。その投資哲学は10の英単語で表現できます。

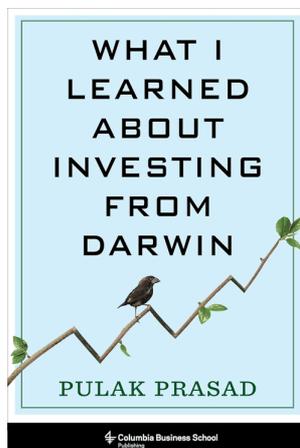
We want to be permanent owners of high-quality businesses. (私たちは質の高いビジネスの永久的なオーナーになりたい。)

どこかで聞いたような……。そう、若き日のバフェットと同じことを言っているのです。

バフェット流というべき投資哲学の実践により、プラサドは本人いわく「悪くない」実績をあげました。自ら運用するナランダのファンドで2007年から2023年まで年率20.3% (手数料控除後) の収益を生み出し、インドのSENSEX指数を10.9%上回っています。

今回の資産運用レポートでは、本書で述べられているプラサド流バリュー投資を取り上げます。

★『What I Learned About Investing from Darwin』（ダーウィンから学んだ投資）



英語版をアマゾンで購入できます。